

英、カナダ 官民協力で酪農乳業支援も

新型コロナウイルス受け各国が食の支援策

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う都市封鎖の影響で、世界的に外食産業で乳製品の消費が大きく落ち込んでいる。英国やカナダでは生乳廃棄が起きたと伝えられた。両国では官民協力型のプログラムも含め、さまざまな食の支援策が発表されている。一方、間もなく新シーズンを迎えようとしているニュージーランドでは他国とは異なり、酪農に特化した補助などは今のところないものの、酪農団体が「GoDairy」と銘打ったキャンペーンを始めた。コロナ禍の影響で今後さらに増加するとみられる失業者の受け皿として、一次産業での就労者を増やす機会と捉えているようだ。

100万ポンド規模で消費者向けキャンペーン (英国)

英国では4月上旬に生乳廃棄が発生する(*1)など酪農乳業のサプライチェーンが大きく混乱した。他国と同様、外食などの休業などに伴い業務用需要が急減したため、乳価にも影響したもようだ。

英国政府は、4、5月の2カ月間で25%以上、収入が減ったイングランドの酪農家に対し、1戸当たり最大1万ポンド(約135万円)を補助すると5月上旬に発表した(*2)。これは4、5月の2カ月間に消えた収入の70%を補填するものだ。

また、酪農業界と政府が協力し、レストラン・カフェ休業による牛乳消費の落ち込みをカバーしようと、総額100万ポンド(約1億3500万円)規模で、消費者向けにキャンペーン「ミルク・ユア・モーメンツ(Milk Your Moments)」を実施する。農業園芸開発公社(AHDB)のキャンペーンとして、酪農乳業組織デーリーUK(Dairy UK)、ウェールズ、スコットランド、北アイルランドの行政機関が資金を出し、英国全土で家庭内での乳製品消費拡大を目的としたマーケティングプロモーションを行う。

*1: "Coronavirus: Dairy farmers throwing

thousands of litres of milk away as demand dries up in lockdown”

<https://www.independent.co.uk/news/health/coronavirus-dairy-milk-farmers-throw-away-shortage-lockdown-a9457001.html>

*2:

<https://www.gov.uk/government/news/new-funding-to-support-dairy-farmers-through-coronavirus>

*3: <https://ahdb.org.uk/news/dairy-industry-unites-to-launch-1m-consumer-campaign>

*4: <https://www.milkyourmoments.co.uk/>

バター・チーズの一時保管を支援

(カナダ)

カナダでも外食需要の急減などで食品のサプライチェーンが大きく混乱し、4月上旬に生乳廃棄が起きたと伝えられた(*5)。政府は、農業部門支援のパッケージとして、農家・食品ビジネス・食品加工業者向けに総額2億5200万カナダドル(約190億円)以上の支出を発表した(*6)。主な内容は下記の通り。

- ① 7750万カナダドルを投じ、食品加工業者を支援
- ② 食品加工場の一時的な閉鎖で影響を受けた生産者や加工業者らの支援のため、

「アグリリカバリー (AgriRecovery)」と銘打つ取り組みの立ち上げ資金として、1 億 2500 万ドルの資金を準備(主に肉牛・肉豚の生産者・加工業者向け)

- ③ バター・チーズの一時保管に関する費用を支援するため、カナダ乳業委員会の借入限度額を 2 億カナダドル分増やす方針で、必要な法改正へ向け野党と協議
- ④ 困窮者らに配るため、史上初の余剰食品買い入れプログラム(5000 万カナダドル分)を立ち上げ
- ⑤ 大幅な所得減に対する所得の安定化事業「アグリスタビリティ (AgriStability)」プログラムの中間支払い額を 50%から 75%へ増額

*5: “Why Canada’s dairy farmers are dumping milk despite food supply issues in COVID-19”
<https://www.cbc.ca/news/business/dairy-covid-19-1.5528331>

*6: <https://pm.gc.ca/en/news/news-releases/2020/05/05/supporting-canadas-farmers-food-businesses-and-food-supply>

一次産業就労者数増へキャンペーン

(ニュージーランド)

ニュージーランドの状況は、英国やカナダなどとは異なっている。これは南半球にあるニュージーランドでは既に生産ピークを終えていたことから、酪農乳業への新型コロナの影響が比較的抑えられたためだと考えられる。酪農家の拠出で運営され、酪農経営のコンサルティングなど行う組織「デーリー NZ (DairyNZ)」は、新型コロナの影響で全国的に失業率が増加すると見込み、就労トレーニングなどのサポートを含めた「ゴー・デーリー (GoDairy)」キャンペーン(*7)を展開する。

DairyNZ では 6 月からスタートする新シーズンを前に、酪農現場では少なくとも 1000 人程度の従業員が不足しており、新シーズンスタート後には求人数がさらに増えるとみている。ニュージーランドでは、人口の 1%強に当たる約 4 万 8000 人が酪農産業に携わり、うち 3 万 4000 人が酪農場で働いている。また就労者受け入れ側の酪農家もこのキャンペーンを好意的に捉えているようだ。

*7: <https://www.godairy.co.nz/>

(Jミルク 国際グループ 御手洗 伸)